

● 地域交流の円滑化推進

アウトカム指標：②圏域中心都市30分圏人口カバー率
生活圏における連携を強化する道路網整備の指標



山口県民の皆様5人中4人の
地域間連携が確保されています

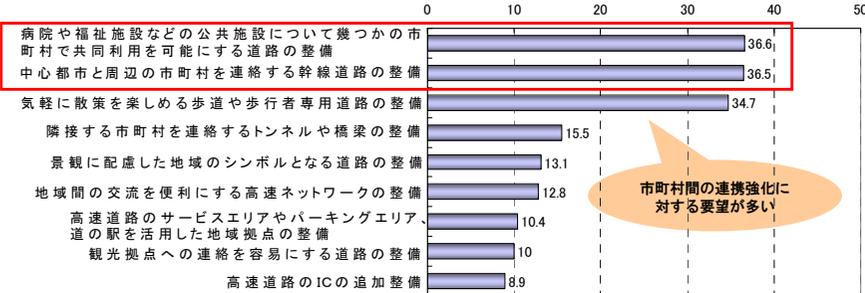
道路整備に対する意識

▶ 道路整備による地域連携の強化が求められています

● 国民世論調査「道路に関する世論調査」によると、活力ある地域づくりのための道路整備として地域間の連携強化が求められています。

道路に関する世論調査 より

「Q:活力ある地域づくりのために、道路整備の面からどのような配慮が必要だと思いますか？」



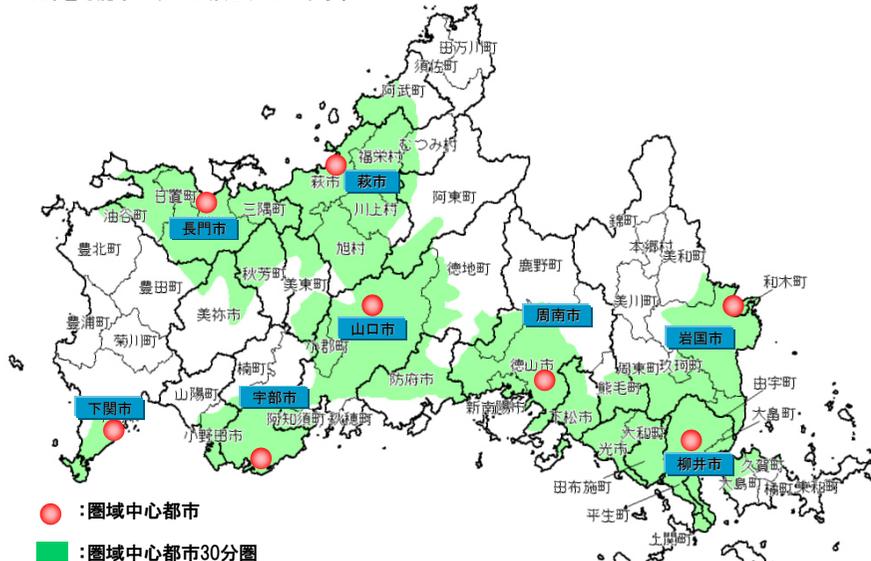
平成18年7月 内閣府「道路に関する世論調査」

市町村間の連携強化に対する要望が多い

市町村の動向

▶ 日常生活において圏域中心都市への依存度が高くなっています

- 圏域内移動のニーズが高まり、それに対応できるネットワークの整備が必要となっています。
- 山口県には中規模の都市が点在し、8つの広域生活圏からなる分散型の都市構造が形成されています。
- 中山間地域の多くは、圏域中心都市まで30分で到達することができません。特に下関地域では30分で到達可能なエリアが限られています。



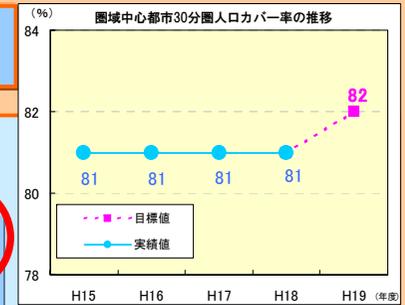
圏域中心都市30分圏

● 平成18年度 達成度報告

平成18年度 達成度【総括】

平成18年度の目標達成状況

平成18年度 目標値 81% ▶ 平成18年度 実績値 81%



● 平成18年度は目標値を大きく向上に寄与する主要な道路の供用がなかったため、圏域中心都市30分圏人口カバー率は平成17年度と変わらず81%となっています。

● 平成19年度 業績計画

平成19年度 業績計画【総括】

平成19年度の取組み

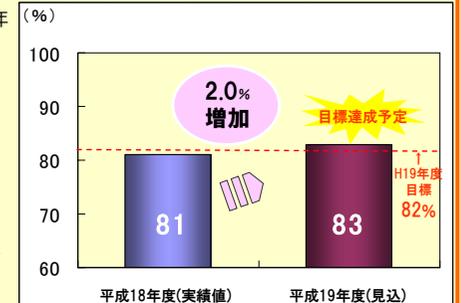
平成18年度 実績値 81% ▶ 平成19年度 目標値 82%

H19年度目標(H15設定)の
目標達成が見込まれます

- 平成19年度は、H19年度目標82%（平成15年度に設定）達成を目指し、現在部分供用している一般国道2号厚狹・植生バイパス、一般国道188号岩国南バイパス、（都）幡生綾羅木線等の全線供用に向け事業を推進していきます。
- 上記の取組みにより目標を達成する予定です。
- 現在到達エリアの限られている下関エリアにおいては、「一般国道191号下関北バイパス」の残区間の供用を目指して事業を推進していきます。

目標値の設定

▼ 圏域中心都市30分圏人口カバー率



利用者の意識

現状の分析

TOPICS 平成23年に第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」が開催されます！！

■ 山口県では、平成23年に二回目となる第66回国民体育大会が開催予定です。

● 第66回国民体育大会は、スポーツを「する・みる・創る」者の思いを一つにして、山口県らしさを活かした県民総参加の大会とするとともに、県内各地でスポーツを通じた活力ある地域づくりを進め、「住み良さ日本一」の元気な県づくりに寄与する大会として開催する予定です。

● 国土交通省、山口県では、国民体育大会開催に向けて、大会参加者等の移動円滑化に向けた事業を推進していきます。

▼ 第66回国民体育大会開催基本構想



山口県HP

地域の自活を支えるみちづくり

② 圏域中心都市30分圏人口カバー率

山口県の現状と課題

地域の自活を支えるみちづくり

② 圏域中心都市30分圏人口カバー率